

## 議事録

作井技術委員会 事務局

平成 25 年度 第 1 回運営幹事会

開催日時：平成 25 年 6 月 10 日（月）15：30～17：30

開催場所：国際石油開発帝石（株）34 階 3410 会議室（大会議室 03）

出席者：池田委員長、浦野、田村、武村、菅野（俊）、菅野（博）、福嶋（直）各幹事、古谷座長、福嶋（睦）座長、豊田事務局（10 名）

欠席者：石井、原田、佐藤、長縄各幹事

### 議題 1：各分科会活動報告

1) 大水深掘削技術分科会：古谷座長

2) HSQE 分科会：福嶋（睦）座長

- 両分科会ともに活動がなかったため、特に報告なし。
- HSEQ 分科会では、API STD 53 による影響をまとめているので、次回分科会で共有できればと考えている。
- 浦野幹事から、技術交流という目的から定期的な活動を期待しているとの発言あり、春季講演会で掘削技術者の交流会などを提案できればとのこと。

### 議題 2：H25 年度 春季講演会準備

1) シンポジウム／個人講演の司会者決定 （添付資料 1）

- 司会者を添付資料 1 のとおりに決定した。（添付資料 1 が、協会誌に掲載されたプログラムと同じであることを確認しました。）
- 古谷座長は、27 日、28 日ともに都合が合わず出席できないとのことから、JDC 石黒氏が代任される。
- 司会者には講演要旨を送付するので、講演会前に内容の確認を行う。

2) 講演会当日の事務局および司会者の読み原稿（案） （添付資料 2）

- 講演会当日の読み原稿は添付資料 2 のとおりとする。
- 坑井デザインの討論会は、壇上の講演者が他の講演者の講演をどう思うかなど、お互いの講演について掛け合い問答となるよう、司会者が促す形で進めてみることになった。機器・素材の討論会は、お互いの講演に関連性が薄いので、講演直後に出た質問をさらに掘り下げるような形で進めてみることになった。

3) シンポジウム討論会速記見積り （添付資料 3）

- 見積り結果と録音の確実性から、（有）東京速記の速記のサービスを利用することを決定した。

4) マイク係担当者について

- 午前・午後ともに 2 名ずつマイク担当者を配備。INPEX から若手の掘削技術者 4 名を

手配する。

5) 学生優秀発表賞の採点方法 (添付資料 4)

- 発表の評価シートは添付資料 4 のとおりとする。
- 学生発表のある 28 日に、世話人全員へ評価シートを配布。発表後に記入して頂き、評価シートの 6. 全体評価の点数の合計が最も高い発表者を学生優秀発表賞とする。

6) JAPT 春季協会誌への投稿促進 (添付資料 5)

- 協会幹事会により今年度から協会誌への投稿促進のため、春季講演会にて個人講演の評価を行い、投稿に値する講演は投稿を勧めることが決定された件を周知した。
- 評価シートの様式は、近日中に開催される協会幹事会にて決定予定。協会幹事会から様式を指定されない場合は、作井技術委員会事務局にて評価シートを作成 (3 段階評価程度の評価シートを予定)。

7) その他

議題 3 : H24 年度活動費会計報告および H25 年度活動費予算案

1) H24 年度活動費会計報告 (添付資料 6)

H24 年度予算¥300,000+利息¥18、支出¥267,980、残金¥32,038

4/5 残金¥32,038 を協会事務局 (西様) へ返却済み

2) H25 年度活動費予算案

- 事務局より、予算案 (添付資料 6) を説明し、運営幹事会で承認された。

議題 4 : 理事会報告

1) 4/23 第 1 回 JAPT 理事会報告

- 80 周年記念出版誌は、インターネットでの検索を考慮し、「石油鉱業便覧 2013」とすることを検討する。
- 会費滞納のため、石油技術協会から 4 名が除名された。
- 生産技術委員会では、春季講演会での学生優秀発表賞の表彰は行わず、後日、協会誌にて公表する方針となった。

議題 5 : その他

1) 事務局報告など

- JAPEX 菅野 (俊) 幹事は、7 月 1 日より Canada カルガリーへ赴任。これにより、菅野 (俊) 幹事は、運営幹事から退任予定。

以上